

第五回写真コンクール

組合活動の部、自由スナップの部。
どしどしご応募ください。上位者は新年号で発表です!! 応募者には記念品贈呈。
締め切りは10月31日。



けんせつ

清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
発行者 尾 芦 富 雄
編集者 砂 川 恵



核兵器のない世界を夢見て
清里分会 徳武弘士

当日、東京駅には各地の原水禁の旗があり、広島に行く実感がわきました。安倍政権が戦争法を施行し、オバマアメリカ大統領が広島を訪問し、戦後71年、記憶に残る大会になりました。

参加者は延べ100万人に達したとのことでした。平和記念資料館では教科書でしか見えない原爆資料を色々見てとて

2日目の分科会は「映像のひろば」に行きました。鳩ははばたく、第四回原水爆禁止世界大会の記録で、国民平和大行進が始まった年です。橋本あつしさんが広島から東京に53日間の記録を見ました。日比谷公園に2000人の拍手に迎えられて到着。

閉会総会では被爆者3名の体験談を聞き、あまりの悲惨さに悲しみと怒りを覚えました。そして被爆2世、佐々木祐滋さんと被爆3世、メティスさんのコラボコンサートは今でも思い出します。どのように後世に語り継いでいけるか今で



も勉強になりました。原爆ドームも間近で見ました。大切に保存して頂きたいと思えます。

分科会は「反核平和の文化」に参加しました。劇団民藝の俳優、田口精一さんは「加害者にも被害者にも

唯一の被爆国、日本でしたが、世界各国から私たちが同じ気持ちで平和を願う、たくさんの人たちの参加や署名があり、驚きました。

広島の小、中学校では8月6日は平和登校



清瀬市の代表団で記念撮影

平和が続くほどにそのありがたみが薄らぐ... 改めて、平和な今に感謝して次世代に伝えていかなくてはいけないと思いました。

原水爆禁止2016世界大会

8月21日(日) 東久留米市商工会館ホールにて、活動者会議が行われました。本部の小番書記次長より「楽しい組織づくりと仲間づくり」の講演があり、新制度共済の説明、拡大運動方針の提案がありました。

8月4日〜6日広島大会に、支部から2名の代表を派遣しました。支部常任執行委員として、組合活動に積極的に参加しているお二人の報告です。撮影：杉村真理



我が支部の拡大スローガン「仲間を増やそうみんなの和」を掲げ、充実した共済制度や社保、労災。支部、分会での楽しいレクリエーションなどをアピールして、拡大を成功させましょう。

活動者会議も終わり、拡大陣式の始まりです。川村副委員長の楽しい司会で幕開け、DVD上映「分会のがんばりを月間に活かそう!」を見て拡大の励みにしました。皆様お待ちかねの乾杯。



も大変だったかなと思うくらい疲れました。AEDは音声ガイドが流れるので、そのとおりやれば良い訳で、難しくはないと思います。人口呼吸はど

7月24日(日) 支部会館で普通救命講習がありました。全体31名の参加で、青空分会からは4名が参加しました。講師は東久留米消防署の方が2名来てくれました。最初に

学んだ事を思い出して

説明を受け、その後、胸骨圧迫とAEDの実技演習をしました。胸骨圧迫は以前、分会で立川の防災センターへ行った時にやった事がありました。こんなにつちの立場でもやりたくないし、やってもらいたくないですね!とは言っても、緊急事態に出くわしたらやらなきゃいけない事なので、今回学んだ事をよく思

い出して、人を選ばず、頑張ろうと思います。私は文章を書くのは苦手なので感想文書かすのはやめて下さい(泣)。

青空分会 時任和幸

